

芸術の揺りかご no.16

吉田 浩 アートライター
Gallery MORYTA

「今生きているアーティストと共に」
文化に対する好奇心を広める場所目指す



意欲的な企画を発し続ける福岡市けやき通りの画廊香月が、名称をGallery MORYTAに変えた。「コンテンポラリー・アート（現代美術）」を軸にする「強い意志を横文字の名称に変えて示したのです。」

「一番重要なのは、現在生きているアーティストと私たち（ギャラリーや客）がコラボレーションすること」とオーナーの森田俊一郎さんは熱く語る。つまり、芸術家と作品を取り払って一般に紹介する人、そして見たり購入する三者が一体となって、現代の美術や文化を進めようというわけ。評価の定まった作家や外国の芸術家にだけ目を向けてきた日本の美術界への批判の目があります。

ギャラリーには珍しく、片隅にピアノが置いてあり、広いテーブルと、詰めれば二十人ほどが座れそうな椅子もある。音楽と美術のコラボレーションもやる。私もマドリッド在住の画家・堀越知秋さんの個展の初日に、カンテ・フォンド（心の底を表現するロマージュブシの歌）で現地人にも評判の堀越さんが歌うのを聞いたことがあります。美術愛好家たちと画家・歌手が一体となって、素晴らしい雰囲気醸成していました。テーブルは、作家と観る人が語り合い、パーティーでは料理

美しくみえることは楽しい。

メガネの 落合

●新天町店 福岡市中央区天神2丁目9-106 ☎741-5566

印象、より鮮やかに。

SAKAE.
サカエビューティサロン

■渡辺通り1丁目サニ一前 ■福岡リーセントホテル3階
■サンセルコ2階 ■渋谷区宮益坂郵便局下
■メルパルクFUKUOKA

創業天正十五年
四百余年の
心と技

如水庵

株式会社 如水庵 じょすいあん 本社
〒812-0011 福岡市博多区博多駅前1丁目4-10 ☎0120-39-0052



や飲み物が並ぶ場。椅子に座れば、じっくりと作品に向き合える。日常生活から一時離れ、文化に浸れる空間です。

「自分が本当に好きなものを人に伝えたい」から画廊を始めた。だから好きな作家を取り上げる自主企画展だけをやり、場所貸しはしない。画廊として商売、力のある、売れる、作家となると、地元ではなく中央の作家が多くなる。客も、中央や福岡県外の人が多いそうだ。

「お客の多くは若い人。社会が病んでいる今だからこそ、大人も文化に目を向けてほしい。文化に対する好奇心を育てる場所にする。文化が育てば、社会も良くなる！」。五十歳を超えても、情熱をたぎらせる男もいるのです。



■Gallery MORYTA
福岡市中央区赤坂3-9-28 ロフティ赤坂2F
TEL 092(716)1032 開廊12時~20時
休廊日 月曜日

ハイアット・リージェンシー・福岡

HYATT REGENCY FUKUOKA

412-1234
博多駅東2-14-1 合同庁舎前

Hotel **Okura**

ホテル オークラ 福岡

福岡市博多区下川端町3-2
☎092-262-1111

西鉄グランドホテル
ソラリア西鉄ホテル

株式会社 西鉄シティホテル
福岡市中央区大名2丁目6番60号

<http://www.grand-h.jp>
<http://www.solaria-h.jp>